

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

年賀状販売の不思議

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3695
16年10月12日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。伝統の秋祭り、長崎くんちが閉幕しました。今年のおくんちには、ユニオンからも2名が参加しました。年々若者が減り担ぎ手など参加者の確保に苦勞しているという話も聞きます。おくんちのみならず各地の伝統行事に参加し継承にも協力してほしいと思います。参加された皆さん大変お疲れ様でした。

さて、おくんちが終われば郵便局では年賀状の予約活動が本格化します。年賀状の予約活動及び販売については、例年需要を無視したかのような過大な指標が設定され、指標達成のための自爆営業が全国的に問題となっています。長中局でも不適切な営業が行なわれています。今後支部でも不適切な営業の防止のため局と交渉を行ないます。役職者からの不当な言動を見聞きした、などの情報がありましたら知らせ

年賀状販売の不思議

・利益率を考えない？

販売指標は28,72億枚で、これを販売するために31,6億枚の発行(予定契約により販売枚数に応じて発注)を予定。当初から1割は売れ残りとなり減却費用が組み込まれた発行計画。毎年売れ残りの処理費用にいくらかかったのか公表して欲しいものです。

また各局に大量に配布される年賀所の申し込み用紙。裏表フルコピー、1枚10円としても郵便局全体では数千万円、お客さんに渡される分より社員の申し込み葉書となる分が多いようです。葉書部分だけ切り取って残りはゴミ箱へ。他のものでも代用出来ないのでしょうか？

・需要や販売実績に基づいた指標が変わる？

需要や販売実績に基づいた支社からの局指標に対して、他の営業実績が低調だからという理由で局独自指標として指標を上げることが多々あります。当然各部・班別の指標も需要・実績を無視した数値となります。これってコンプライアンス(需要に基づいた営業)に反してないのでしょうか？私たちはこれこそが無理な営業の強要の主因となると考えています。

・期間雇用社員については「販売協力」？

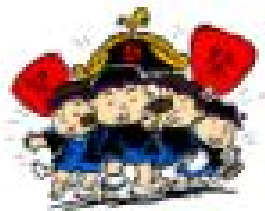
期間雇用社員についてはユニオンが闘っている「郵政20条裁判」を機に、指標ではなく「販売協力」を求めるものとされました。しかしながら、長中局では年賀状の予約・販売実績表には正社員と同じく期間雇用社員にも数字が割り当てられ、正社員との合計で班の実績〇〇%というふうに掲示されています。同じ一覧表に表示しながら、正社員は「指標」だから達成を求めるが、期間雇用社員は「販売協力」なので販売に協力してくれれば販売数は問わないよ、と言うのでしょうか？

たしかに年賀状は郵便局の顔ですが、社員に多大な負担をしいり、「自爆営業」など、マイナスイメージさえある販売方式を改め、無駄な経費(森林資源の浪費もやめ)をかけず、本当に必要とされる年賀状だけを販売・配達するよう見直すべきだと考えます。



理由は人件費で、2日の配達を中止すれば、コストの削減につながる。親会社の日本郵政が15年11月に上場し、市場から収益力の向上を求められていることも影響したとみられる、とありました(組合との交渉では、検討中との回答です)。

て下さい。その年賀状ですが、1950年用として初めて(年賀郵便用の年賀切手は戦前から発行されていた)発行された数は1億8千万枚。ピークは2003年の4億5936万枚でそれ以後は漸次減少が続き、直近



8年間は連続で前年比マイナスを記録しています。2017年用は、前年比でマイナス10%超の2017年用年賀状は28億5329万6千枚(2016年8月31日に発表・当初の発行枚数)です。また一人あたり購入枚数ではピークは2003年で平均枚数は約35枚。2017年用分は22.5枚で、ピークだった03年度

に比べ、3分の2の水準です。実際には個人のお客さんより企業の出す年賀状のほうが減少率が高い気がしますが、どちらにせよ年賀葉書の需要は今後も減少し、発行枚数も減らさざるを得ない事態が続くと考えられます。昔年賀状は営業利益の2割弱を稼ぐ稼ぎ頭でした。その頃は年賀状が売れない



とボーナスが支給されないとまで言われたらしいですが、現在、年賀状の営業利益はどれくらいでしょうか？

折りしも先月、2017年1月2日の年賀状の配達を取りやめる方向で最終調整に入った、と報道がありました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。